

韓国の固城郡国際交流協会が岡垣町を訪問

10月20日に韓国の固城郡国際交流協会の皆さんが、まつり岡垣への出演のほか、国際的な恐竜博覧会「慶南固城恐竜世界エキスポ」のPRのために岡垣町を訪れました。まつり岡垣のステージでは、固城郡の歌手が伝

統的な歌を披露。来場者はその歌声に聴き入っていました。

広大な敷地でさまざまな恐竜に出会える恐竜博覧会は、来年の4月から6月まで韓国で催されます。この時期に韓国を訪れる人は、ぜひ足を運んでみてください。



▲表敬訪問の様子

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



聖地に思いを馳せて

オーストラリアには、世界中から毎年多くの観光客が訪れます。シドニーのオペラハウスやタスマニアにある囚人遺跡群、グレートバリアリーフやカカドゥ国立公園など、オーストラリアは観光名所が多い国です。今回は、おそらくその中でもっとも有名な「Uluru (ウルル)」を紹介します。

ウルルとは？

ウルルは、ノーザンテリトリー南西部のウルル＝カタ・ジュタ国立公園にある岩山です。高さ335m、周囲約9.4km



▲ウルル (エアーズ・ロック)

の一枚岩で、岩肌には独特の赤みがあります。少し前までは、イギリスの植民地時代に南オーストラリア州総督を務めたヘンリー＝エアーズにちなんで名付けられた「エアーズ・ロック」という名称で知られていました。

現在はオーストラリアの先住民族アボリジニの文化が認められ、国立公園がユネスコ世界遺産の複合遺産(※)として登録されたため、アボリジニが古くから使っていた「ウルル」を正式な呼び名としています。

先住民が抱く聖地への思い

イギリスがオーストラリア大陸の植民地化を行ってから、アボリジニの土地はオーストラリア政府のものになりました。そのことにより、イギリス人がアボリジニの意

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"The Red Centre"

読み方 「ザ・レッド・センター」

意味 「オーストラリア中央部にある赤土の広がる観光名所」

「The Red Centre」は、「Outback (アウトバック)」と呼ばれるオーストラリアの内陸部のうち、「アリス・スプリングス市」や、先住民族アボリジニの代表的な聖地である「ウルル (巨大な一枚岩)」、「オルガ岩群」などの名所が多くある、赤土が広がるエリアのことです。壮大な景色の中には、砂漠の大地、荒涼とした山、切り立った渓谷、満天の星空などの観光スポットがあります。オーストラリア旅行の際はぜひ行ってみてください。

に反して、ウルルにある聖地の「ワラクキ洞窟」を荒らしたなど、残念な歴史があります。その後、政府は1986年にウルルの所有権をアボリジニの人々に返還。ウルルは、アボリジニと国が管理することになりました。

ウルルには毎年30万人以上の観光客が訪れます。アボリジニはウルル周辺の観光は許していますが、聖地のウルルには登らないことを望んでいます。

これまで、1日に約400人もの人がウルルに登り、ゴミのポイ捨てなどアボリジニの聖地で失礼な行動をしていました。また、何十年間も同じ登山道が使われてきたため、ウルルが傷ついてしまったと考えられています。そのため、国立公園委員会はアボリジニの気持ちを考えて、今年の10月26日以降、ウルルに登ることを禁止しました。

※複合遺産…文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備える遺産